



# 西中学校だより

令和6年度

7月号

## ～これからの学校教育とは～

校長 門井 五雄

2023年12月に公表された「OECD生徒の学習到達度調査PISA2022のポイント」によると、日本はOECD加盟37か国中、数学的リテラシーと科学的リテラシーで1位、読解力で2位という結果であった。

その一方で、学校が再び休校になった場合に自力で学んでいけるかという質問に対し、日本の子供の多くが「自信がない」と回答しており、37か国中34位である。

この、自ら学んでいくことに自信がないという課題に対して、いち早く2021年1月の中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して ～すべての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学び実現～ が答申された。

今までの「子供たちの知・徳・体を一体で育む日本型学校教育」は、すべての子供たちに一定水準の教育を保障する平等性には諸外国から高く評価されているが、大きな問題も抱えている。その問題が新型コロナウイルス感染症の拡大で明らかになった。

その課題とは、学校の臨時休業中、子供たちは、学校や教師からの指示や発信がないと「何をしたいかわからず」学びを止めてしまう実態が見られた。このように、これまでの学校教育では自立した学習者を十分に育てられなかったのではないかという課題である。

そのような原因について答申では「みんなと同じことができる」「言われたことを言われたとおりに行う」「正解の暗記」「学校ではみんなと同じことを、みんなと同じように」を過度に要求していたのではないかということをおっしゃっている。

令和の日本型学校教育では、学校がすべての子供を自立した学習者となることを目指す。

令和の日本型学校教育が打ち出された背景には、不登校児童・生徒の人数が約30万人までに膨れ上がったことにより、学校が子供の多様性に応じきれていない危機感がある。

2022年に文部科学省が実施した調査では、小学校4年生の約28%が「授業の内容が難しすぎる」と答えている。また、27%が「授業の内容が簡単すぎる」と回答している。つまり、授業の内容があっているのは45%である。

このようなことから、一人一台端末がある強みを活かして、子供が自立的に進める個別最適な学びが推奨されている。そして、子供同士が声を掛け合って主体的に展開する協働的な学びができるように可能な限りカリキュラムや学習環境に工夫をしていく必要があるのではないだろうか。

最後に、多様な子供たちのニーズに応じられるように、私たち教職員も研究してまいりますので保護者・地域の皆様には引き続き本校の教育活動への御理解・御協力をお願いいたします。

# 北埼玉地区夏季体育大会



6月19日(水)と20日(木)を中心として、北埼玉地区の夏季体育大会が実施されました。3年生にとって最後の大会ということもあり、これまでの成果を発揮する絶好の機会となりました。

※ 学校ホームページでは、個人情報保護の観点から、記事、レイアウト、画像等、配付版とは一部異なる場合があります。

卓球部男子は団体と個人で県大会出場、女子は団体で県大会出場です。柔道部男子も団体と個人で県大会出場、女子も個人で県大会出場です。7月下旬頑張ってください！陸上部は7月3日(水)に実施されます。

## 修学旅行

6月24日(月)からの3日間で修学旅行に行って参りました。毎日共に生活する、学級や学年の仲間と行く修学旅行には、ある意味違った価値があるのかもしれません。

日	曜	行事等
1	月	B 週時間割開始 成績処理期間4時間授業(～7/5)
2	火	
3	水	北埼玉地区夏季体育大会(陸上)
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	表彰朝礼・登校指導日
10	水	専門委員会
11	木	⑥文化発表会
12	金	PTA 交通指導日   学期末保護者説明会 ⑤授業参観 ⑥学級懇談 (⑤⑥3年生進路説明会)
13	土	夏祭り巡視
14	日	
15	月	
16	火	7月分月例費引落し
17	水	給食終了 家庭学習の日 ⑥非行防止教室
18	木	④大掃除
19	金	I 学期終業式
20	土	
21	日	
22	月	三者面談期間(～8/2)
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	